**指導のてびき②**

メッセージアプリ（SNSなど）での気持ちの伝え方を考えよう

　―人権局啓発動画「SNSの使い方をみんなで考えよう！」を活用してー

　◆目的

　　　・SNS等での発信には、情報を発信する自由がある一方で、その情報が人を傷つけてしまう場合があることを知る。

　　　・自分の思いを伝える時は、相手や周りの人の立場も考え伝えようとする姿勢を持つ。

　　　・SNS等を活用する際の問題を考えることを通して、適切に利用する態度を養う。

　◆対象

　　　・小学校５・６年生

　◆時間

　　　・４５分

　◆教材名

　　　・啓発動画「SNSの使い方をみんなで考えよう！」（大阪府府民文化部人権局）

　　　　URL: <https://www.youtube.com/watch?v=wYsi4jELRZw>

　◆指導にあたって

・学校の一人一台端末以外は使用したことがない児童や、SNS等をほとんど使用したことがない児童など様々な実態があることを想定し、アプリケーションの機能や用語などについて、状況に応じて説明をするなど配慮して進める。

・これまでSNS等を使用する中で悪口を書かれたりいじめに遭ったりした経験のある児童がいることを想定して、児童の表情等を丁寧に把握し、気になる様子があればその場で声をかけたり、授業後に気持ちを聞いたりするなど配慮して進める。

　◆展開例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 流れ | 学習活動 | 留意点 |
| ●ふだんの生活について振り返るとともに、学習のめあてをつかむ。(５分)●SNS等の使い方について考える。(30分) | （発問）休み時間の過ごし方で嫌だなと思うことにどのようなことがありますか。　◆予想される児童の反応　　　・本を読んで静かに過ごしたいのに騒ぐ人がいる。　　　・ボールの取り合いになることがある。　　　・廊下を走っている人がいて危ない思いをしたことがある。（発問）そのようなときに皆さんはどうしますか。　◆予想される児童の反応　　　・自分の思いを直接伝える。・先生や友だちに相談する。・困らないようにルールを決める。　　　・関係が悪くなるかもしれないので言うのを我慢する。　　　【今日のめあて】嫌だなと思うことがあった時にどうすれば良いのか動画を見て考えよう。（説明）これから、動画を見ます。（教材）人権局啓発動画「SNSの使い方をみんなで考えよう！」（大阪府府民文化部人権局）のケース１を見る。（ケース１）（発問）登場人物の一体どこが、何がいけなかったのでしょうか？◆予想される児童の反応　　・千尋さんが周りの意見も聞かず自分勝手にふるまっていたこと。　 　・光さんが千尋さん以外でSNSのグループを作り悪口を書き込んだこと。　　 ・蛍さんが千尋さんに、光さんの書きこんだ悪口を伝えたこと。（発問）登場人物はどうしたらよかったのでしょうか。自分の考えをワークシートに書きましょう。自分の考えを発表しましょう。◆予想される児童の反応　　　・千尋さんはもう少し周りの意見を聞いて行動できたらよかった。　　　・千尋さんは光さんを呼び出したときに怒って立ち去るのではなく、自分がなぜ腹が立っているのかを伝えられたらよかった。　　　・光さんは直接千尋さんに自分の意見を伝えられたらよかった。　　　・光さんは一人で言えないなら、友だちや先生に相談できたらよかった。　　　・蛍さんはまず光さんに話ができたらよかった。（補助発問）友だちの意見を聞いて、質問や気づいたことがあれば発表してください。（ケース２）（教材）動画のケース２を見る。（発問）登場人物の一体どこが、何がいけなかったのでしょうか？できればそう考えた理由も一緒に発表してください。◆予想される児童の反応　　 ・希さんが無視をされたと思いこんでしまったこと。佑月さんに聞けばトラブルにならなかったと思うから。　　・希さんが佑月さんの悪口をSNSに書きこんだこと。怒っているときにSNSに書き込むのはよくないし、関係のない佑月さん以外の人にも伝わってしまうから。　　・飛鳥さんがきつい口調で希さんに問い詰めていたこと。言い方がきついことに嫌な思いをしたり、腹が立ったりして、伝えたいことが伝わらないと思うから。（発問）ケース２では、登場人物はどうしたらよかったのでしょうか。自分の考えをワークシートに書きましょう。自分の考えを発表しましょう。　　◆予想される児童の反応　　　・希さんは、「私も話に入れて。」と言って入っていけたらよかった。　　　・飛鳥さんは、一方的に問い詰めるのではなく、希さんの気持ちを聞いてから希さんの行動の良くないところを伝えられたらよかった。・希さんは、自分の思いを直接佑月さんに伝えられたらよかった。　　　・希さんがSNSを使って伝えるなら、自分の気持ちだけでなく、なぜ佑月さんに怒っているのかの理由を直接佑月さんに伝えられたらよかった。　　　 | ・児童が発言しやすい雰囲気をつくるよう心がける。・本時のめあてにつなげるために、ふだんの休み時間の出来事など、どの児童も経験しているような話題を提示する。・動画を教室のテレビや一人一台タブレット端末等に表示する。・発問後の子どもたちの様子を見て必要に応じて再度動画を流す。その際、登場人物の行動の何が問題かを考えながら視聴するよう促す。・どのような行動ができたら登場人物それぞれが納得できるのかを考えられるようにする。・同じような経験をした児童がいないかなど子どもの様子を丁寧に見取る。・発問後の子どもたちの様子に合わせて、もう一度動画を流す。・一方的な気持ちだけが表現されている情報は、受け取った側の理解のズレや誤解を生むことがあることを考えられるようにする。・情報を発信する自由とともに、相手を傷つけてしまう場合があることに気づけるようにし、SNS活用の留意点をおさえる。 |
| ●ふりかえる。(10分) | （説明）みんなの意見を聞いて、今日考えたことなどをワークシートに書きましょう。　　※時間の許す限り、感想や考えたことを学級全体で共有して終わる。初めに考えた休み時間のことや、自分の身の回りのこと等、ふだんの生活について自分の考えをワークシートに書いていればできるだけ共有する。 | ・子どもの意見から冒頭の休み時間の過ごし方で考えたことについて触れるなど、SNSの使い方だけでなく日常のやりとりにおいても、相手の立場に立って表現したり考えを聞いたりすることが大切であることを確認する。 |

≪参考資料≫

1. インターネットの危険から子供を守る【内閣府】

<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/cu_internet_kodomo/index.html>



２．インターネットトラブル事例集【総務省】

<https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/>



３．「インターネットによる人権侵害」に関する参考資料【文部科学省】

<https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinken/sankosiryo/1322252.htm>

４. 携帯・ネット上のいじめ等への対処方法プログラム【大阪府教育庁】

　<https://www.pref.osaka.lg.jp/jidoseitoshien/ijime/nettoijimetaisyohouh.html>

５. 子どもたちが安心して過ごせる学級づくり　～年間を通しての活動例～【大阪府教育センター】

　<https://www.osaka-c.ed.jp/matters/humanrights_files/gakkyuudukuri/gakkyuudukuri.pdf>

